

政策シート

2025年度	(管理番号)					担当課名
	分野	基本政策		政策		動物愛護教育センター
	05	02	01	10	01	

政策
人と動物の共生する社会の実現

政策の内容

人も動物も健康で安全に生活できる環境を保持するため、動物愛護の意識を高め、人と動物が共生する社会の実現を目指します。
命を大切にすることを育むため、動物の生命を通したいのちの教育を推進します。

生活満足度に関する指標(個別指標)

指標名	質問文	基準値 2024年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度	2028 年度	2029 年度
-	-						

※総合計画基本計画に係る市民意識調査(アンケート)の結果

現状・課題

野良猫を減らすための取り組みとしての不妊手術事業、狂犬病発生防止のため予防接種率向上の取り組み、犬猫の多頭飼育による生活環境悪化防止のための取り組み等を進めている。
高齢者の増加に伴い、犬猫の飼育が困難となりセンターに引き取りを依頼するケースが増加傾向にあることから、終生飼養の啓発等、センターへの引き取り依頼を減少させるための方策が今後の課題である。
引き取った犬猫については譲渡を促進し、センターによる殺処分を減らすための取り組みを今後も継続していく必要がある。

政策コストの状況(千円)	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度
予算	60,296				
決算	59,025				

※「①事業活動(アクティビティ)」の予算・決算の合計

人工	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度
正規職員	7.3				
会計年度任用職員	7.0				
暫定再任用職員(31時間勤務)	2.7				
暫定再任用職員(26時間勤務)	0.0				

※保健所浜北支所の人工を含む

①事業活動(アクティビティ)

事業名	事業内容	2025年度 予算 (千円)
		2025年度 決算 (千円)
動物愛護推進事業	1 犬猫の引き取り及び譲渡 飼い主不明もしくは飼えなくなった犬猫の引き取りと譲渡を行う。	27,081
	2 野良猫の不妊手術事業 野良猫を減少させるための取り組みとして、市民と協働で不妊手術を行う。 3 負傷動物の保護 路上等で発見された負傷動物を保護収容し、治療を行う。	27,126
家庭動物等管理事業	1 犬の登録と狂犬病予防注射 狂犬病予防法で規定する登録の実施と予防注射の接種率向上の取り組みを行う。 2 放浪犬の抑留及び返還 狂犬病予防法に基づき放浪犬を抑留し、飼い主の搜索及び返還を行う。 3 動物取扱業の登録と監視指導 動物愛護管理法に基づき業者の登録をするとともに、登録業者の監視と指導を行う。 4 指定区域における動物の飼養許可 化製場法に基づき、指定された区域における動物の飼養許可を行う。	21,220
		20,659
いのちの教育事業	「いのちを大切にする心豊かな子どもと優しい市民の暮らす街」をスローガンに掲げ、家庭動物を題材としていのちの教育を行う。	443
		381
動物愛護教育センター運営経費	動物愛護教育センターを市民が安心して利用できるよう、維持管理を行う。	11,552
		10,859

※予算・決算は各事業に係る経費を計上



②活動(アウトプット)指標

指標名	指標の定義	設定理由		2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度	2028 年度	2029 年度
いのちの教育授業実施回数(回)	動物愛護教育センターで実施するいのちの教育授業実施回数 ※実績値は年度末～翌年度初旬に確定することから、2024年度の実績値は2023.4.1～2024.3.31の期間の合計額である	いのちの教育授業は動物愛護の意識向上に寄与すると見込んでいる。	目標値	-	20	21	22	23	24
			実績値	19 (2023年度)	10				
			達成率	-	50%				
			目標値	-					
			実績値	-					
			達成率	-					
			目標値	-					
			実績値	-					
			達成率	-					

※達成率は該当年度の目標値に対する実績値から算出する。

③短期成果(アウトカム)指標

指標名	指標の定義	設定理由		2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度	2028 年度	2029 年度
猫の引き取り数 (件)	飼い主不明もしくは飼えなくなった猫のセンターでの引き取り数 ※目標値は2023年度実績値とし、達成率は「減少」した場合は「100%」、「増加」した場合は「実績値/目標値の逆数」とする ※実績値は年度末～翌年度初旬に確定することから、2024年度の実績値は2023.4.1～2024.3.31の期間の合計額である	人と動物が共生する社会の実現のためには野良猫の減少や終生飼養の徹底が必要であり、その指標として引き取り数を設定した。	目標値	-	280	280	280	280	280
			実績値	280 (2023年度)	218				
			達成率	-	100%				
			目標値	-					
			実績値						
			達成率	-					

※達成率は該当年度の目標値に対する実績値から算出する。

④長期成果(アウトカム)指標

指標名	基本計画 指標	指標の定義		2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度	2028 年度	2029 年度	目標値 2034
健康寿命 (歳)	○	健康上の問題で日常生活が制限されることなく生活できる期間	実績値	男性 73.70 女性 75.95 (2022年度)	2027年 度確定					男性 75.24 女性 78.15
			達成率	男性 98% 女性 97%						
			実績値							
			達成率							
			実績値							
			達成率							

※達成率は2034年度の目標値に対する実績値から算出する。

⑤目的:10年後(2034年)の理想の姿

病気の発症や重症化を予防することにより、健康で自分らしく充実した生活を送っている。

【2025年度の評価】

「①事業活動(アクティビティ)」の実施内容と事業改善(2026年度記載)

事業名	実施内容	事業改善の内容や今後の方向性
動物愛護推進事業	1 野良猫の子猫だけでなく、多頭飼育崩壊の状態で飼育されていた猫や高齢者が飼育困難となった猫を引き取り、譲渡につなげた。 2 野良猫不妊手術事業として、1157頭の野良猫に不妊手術を行った。 3 負傷動物を収容し、センター獣医師または動物病院において治療後、成猫はリリース、子猫は譲渡を行った。	繁殖制限の推進等、適正飼養を啓発する。野良猫不妊手術事業は予算を拡充して継続する。
家庭動物等管理事業	1 狂犬病予防注射督促ハガキの色と記載内容を変更して送付した。 2 放浪犬を抑留し、飼い主に指導後、返還した。 3 動物取扱業のうち犬猫移動販売については、登録申請時に、動物の大きさがわかる一覧表や運動計画の提出を求め、基準への適合を確認した。 4 化製場法に基づき、動物の飼養許可及び監視を行った。	犬の飼い主の法に基づく適切な飼養と、動物取扱業の法令遵守を指導していく。
いのちの教育事業	いのちの教育事業を10回実施した。	いのちの教育について周知していく。
動物愛護教育センター運営経費	設備点検を実施し、空調機器に不具合が発生したため修理を行った。	修繕費を拡充し、施設設備を維持管理する。

「②活動(アウトプット)指標」の見直しの要否(2026年度記載)

指標見直しの要否	否

「③短期成果(アウトカム)指標」の見直しの要否(2026年度記載)

指標見直しの要否	否

2025年度の政策の評価と2026年度以降の取組の方向性(2026年度記載)

・狂犬病予防注射督促ハガキを活用し、犬の死亡の届出を啓発したことで、適正な登録が推進された。2027年度から接種期間(4～6月)の規定がなくなるため、予防注射及び適正登録について、効果的な啓発方法を検討する。

・いのちの教育実施回数が減少し、活動(アウトプット)指標達成率は目標の50%であったため、出前講座等について告知方法を検討する。

・野良猫の子猫の引取り頭数が減少し、短期成果(アウトカム)指標達成率は100%となったが、市民の要望に対応するため、野良猫不妊手術事業は予算を拡充し継続する。一方で多頭飼育等を原因として譲渡につながりにくい成猫の引取り割合が増加した。今後は、譲渡促進、不妊手術の啓発、多頭飼育問題対策として生活困窮世帯を対象とした無料の不妊手術を検討していく。